

感染症予防対策シート（講演会・講習会用）

施設使用予定日： 2020/11/14-15

施設使用団体名： 日本居住福祉学会

中京大学名古屋キャンパスの施設使用にあたり以下にある項目について確認し、対策を講じている項目に☑を記入してください。

また、全ての項目に☑がない場合は、貸出を不可とすることもございます。

なお、4.<試験当日>入室開始時（2）マスクを持参していない来場者に関しては、対応策をご記載ください。

1. 来場者に対する事前案内について

☑	(1) 会場では、常時マスクを着用すること。
☑	(2) 当日の朝に検温を行うこと。発熱があった場合や息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさや軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は、来場しないこと。
☑	(3) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合には、来場しないこと。
☑	(4) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、または地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合は、来場しないこと。
☑	(5) 手洗い、手指のアルコール消毒、咳エチケットを励行してください。
☑	(6) 会話は最小限としてください。
☑	(7) エレベーター及び階段は、適切な距離を保ちながら使用すること。
☑	(8) 会場となる教室やホール以外へは、立ち入らないこと。
☑	(9) トイレのハンドドライヤーは使用中止のため、各自個人用ハンカチ・タオルの準備をしてください。
☑	会場にて体調の異変を感じた場合は、速やかに近くの運営スタッフに申し出るようにしてください。 また、その場合の対応の流れは以下の通りとなることを承知おきください。
☑	①速やかに別室へ隔離をおこないます。
☑	②対応するスタッフは、マスクや手袋を着用します。
☑	③運営責任者は、速やかに、医療機関及び保健所へ連絡し指示を受けます。
☑	④保健所への確認後、自宅待機となった場合は、身内の方へお迎えを依頼します。
☑	⑤身内の方が来ることができない場合は、タクシー（名タク）を借用側運営スタッフが手配し、自費にて帰宅して頂きます。

2. 講演会・講習会実施前対策について

☑	(1) 各会場となる建物の入口付近へ、手指消毒用アルコール消毒液を設置する。
☑	(2) 入場時には必ず来場者の検温をしてください。（サーモグラフィ、非接触型体温計等が望ましい。）
☑	(3) 会場内の座席配置はソーシャルディスタンス対応として、来場者の横間隔を1メートル以上あける。
☑	(4) 備品の貸出については、使用前後に十分な消毒を行うこと。
☑	(5) 体調不良者のための待機教室として、使用建物ごとに必ず1室確保する。

3. 当日運営スタッフについて

☑	(1) 手洗い、手指のアルコール消毒、咳エチケットを励行してください。
☑	(2) 当日の朝に検温を行うこと。発熱があった場合や息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさや軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は、来場しないこと。
☑	(3) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合には、来場しないこと。
☑	(4) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、または地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合は、来場しないこと。

4. 講演会・講習会当日について

○入室開始時

☑	(1) 三密となることが予想される場合は、最低1メートルの間隔をあけた整列を促す等、来場者が密集しないように心がける。
☑	(2) 会場への入場に際し、来場者にマスクの着用を促すこと。 ※マスクを持参していない来場者へは、主催者側でどのような対応をするか記載してください。→
☑	(3) 各会場入口付近に手指消毒用アルコール消毒液を設置し、来場者に対して手指の消毒を行うように周知すること。
☑	(4) 入・退室の際にドアノブに触れないよう、教室のドア・建物出入口は開放状態にする。 ※開放状態が無理であれば、終了後の清掃、消毒を丁寧に実施すること。

○講演会・講習会開始前から実施時間中

☑	(1) チケットや参加票等の回収・整理を行う際は、前後の手指消毒を徹底する。
☑	(2) 案内等の配付を行う際は、手指消毒を徹底する。
☑	(3) 会場内は、定期的に換気を行う。換気は原則として2方向の窓を同時に開放する。
☑	(4) チケットや参加票等の回収・確認等を行う際は、前後の手指消毒を徹底する。
☑	(5) 感染者が発生した時に濃厚接触者を特定する作業に備えるため、誰がどの席に座ったかわかるよう着座位置を記録し当分の間保管する。

○休憩時間中

- (1) 会場とトイレ以外の立ち入り禁止（ラウンジ含む）。対面での飲食や会話を回避させる。また、人と人との間隔は1m以上あけるようにする。

○感染が疑われる方が発生した場合

- (1) 感染が疑われる方が発生した場合、速やかに別室へ隔離をおこないます。
- (2) 対応するスタッフは、必ずマスクや手袋の着用を徹底してください。
- (3) 速やかに、保健所へ連絡し指示をうけてください。
- (4) 保健所への確認後、自宅待機となった場合は、身内の方へお迎えを依頼してください。
- (5) 身内の方が来ることができない場合は、タクシー（名タク）を借用側運営スタッフが手配し、自費にて帰宅させます。（名タクは感染者対応可能）

○講演会・講習会終了時

<会場からの退室>

- (1) 会場から来場者が一斉に退室すると密集が発生するため、時間をずらして退室させる。

<換気、清掃、消毒>

- (1) 速やかに換気を行うと共に、手が触れる場所に関して清掃、消毒を行う。
- (2) 特に高頻度接触部位（ドアノブ、エレベータのボタン等）に留意する。
- (3) 清掃やごみの廃棄作業をする方は、マスクや手袋の着用を徹底する。
- (4) 清掃やごみの廃棄作業を終えた後は、必ず石鹸と流水で手洗いを行う。

<トイレ>

- (1) 大学が指定した業者に託し、不特定多数が接触する場所（ドアノブ等）は、適宜、清掃、消毒を行う。
- (2) トイレのハンドドライヤーは、感染拡大防止のため使用中止です。
- (3) 清掃者は必ずマスクと手袋を着用し、可能であれば換気をしながら清掃を行う。

5. 感染者が発生した場合（後日、確認された場合を含む）

- (1) 感染者が発生した場合には、速やかに大学に連絡すること。

6. その他

- (1) 各建物入口付近及び各教室入口あたりに配置済みの消毒液とペーパーは、本学学生用のため受験者の使用は不可となります。
- (2) 本学学生用の消毒液及びペーパー等は、来場前に片づけて頂き、終了時には現状復帰をしてください。